

金沢市教育振興基本計画（骨子案）

I 金沢市教育振興基本計画について

1 計画策定の趣旨

「金沢市学校教育振興基本計画」及び「金沢市生涯学習振興基本計画」が改定から5年目を迎え、この間の教育を取り巻く状況の変化や新たな課題に対応するとともに、これまで以上に学校と家庭、地域、行政等が密接に連携しながら、学校教育施策と生涯学習施策を展開するため、両計画の見直しに合わせて一本化した「金沢市教育振興基本計画」を策定し、本市の教育行政に関する施策を一体的・総合的に推進するもの。

2 計画の位置付け

- ・教育基本法に基づく、地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- ・金沢市都市像の実現に向けた「未来共創計画」の教育分野と整合を図る
- ・本市の教育行政施策の方針を定めた「金沢市教育行政大綱」と整合を図る
- ・計画の実践にあたっては、本市の関連個別計画と連携を図る



3 計画の期間

令和8年度から令和17年度までの10年間

4 計画の進行管理

- ①計画の点検・評価
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく点検評価結果等を活用
- ②計画の見直し
・策定から10年後を目途に進捗状況や成果を検証し、計画の見直しを実施
・教育をめぐる社会情勢や国・県の動向等を踏まえ、計画期間中においても必要に応じて見直しを実施

II 教育を取り巻く現状

1 社会の動向

○VUCA※の時代

技術革新による加速度的な社会変化や、新型コロナウイルス感染症の拡大、相次ぐ自然災害の発生など、現代は先行きが不透明で予測が困難な時代といわれている。

※変動性(Volatility), 不確実性(Uncertainty), 複雑性(Complexity), 曖昧性(Ambiguity)の頭文字を取った言葉

○グローバル化の進展

情報技術の進展や交通手段の発達等により、人、モノ、情報の移動が活性化して、様々な分野で各国が相互に依存し、他国や国際社会の動向に影響を及ぼしている。

○DXの進展

AIやIoTなどの情報技術の進化・普及により、DXによるオンライン学習や遠隔教育といったデジタル教育が発展し、効果的で多様な学習環境が実現されつつある。

○「こども基本法」の制定

子供に関する施策を社会全体で総合的かつ強力に推進していくための包括的な基本法として、令和5年4月に「こども基本法」が施行された。

○ウェルビーイング※の向上

多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるよう、個人と社会のウェルビーイングの向上が求められている。

※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念。

2 国の動向

○「教育振興基本計画」の策定

「持続可能な社会の創り手の育成」及び「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」をコンセプトとした「第4期教育振興基本計画」を令和5年6月に策定。

○「令和の日本型学校教育」の構築

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実し、主体的・対話的で深い学びの実現を図る令和の日本型学校教育を、中央教育審議会から令和3年1月に答申。

○次期学習指導要領

生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、自らの人生を舵取りすることができる、民主的で持続可能な社会の創り手を育成。

○部活動改革の推進

生徒が継続的にスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保するため、学校単位で行われてきた部活動を、地域全体で連携して支え、豊かで幅広い活動機会を保障。

○リカレント教育の推進

人生100年時代において、全ての人が豊かな人生を送ることができるよう、生涯を通じそれぞれのニーズに応じて学習し、活躍できる環境を整備。

○社会教育人材の養成と活躍機会の拡充

地域の社会教育活動を支える社会教育主事や社会教育士など、社会教育人材に係る制度の整備・見直しの推進やネットワーク化等の促進。

金沢市教育振興基本計画（骨子案）

3 金沢市の主な取組と課題

《主な取組》

【学校教育】

- ・新しい時代が求める学びの在り方を踏まえた「新金沢型学校教育モデル」の実践
- ・不登校対策として、「学びの多様化学校」の設置を検討するとともに、全小中学校への「校内教育支援センター」を設置
- ・特別支援教育を推進する拠点として「特別支援教育サポートセンター」を開設
- ・ものづくり人材の育成に向けて、「金沢市立工業高等学校ものづくり教育コンソーシアム」を設置

【生涯学習】

- ・家庭と地域の教育力向上に向けて、新たな「家庭教育推進プログラム」を策定
- ・対面とオンラインを併用した「かなざわ市民アカデミー」を開催
- ・地区公民館のICT環境の整備など、地域の生涯学習活動拠点を支援
- ・キゴ山の豊かな自然環境を生かした里山教育・宇宙教育の推進
- ・図書館機能の充実と利便性向上に向けて、電子書籍貸出サービスの実施やデジタル図書カードを導入、「玉川こども図書館」のリニューアルオープン

《主な課題》

【学力・体力】

- ・新金沢型学校教育モデルの実践における、各学校の取組の質の向上
- ・感動や喜びを感じ、自分に自信をもつことができる教育活動の充実
- ・教育活動全体を通して、運動の日常化につながる取組の充実

【子供】

- ・教科の指導と生徒指導を一体化させた教育活動の充実
- ・校内教育支援センターのさらなる充実に向けた、多様で実効性のある支援
- ・一人一人の教育的ニーズに配慮した、きめ細やかな特別支援教育の充実
- ・不登校児童生徒の社会的自立をめざした相談や多様な支援の充実

【教職員・学校】

- ・教職員が本務に専念できる時間の確保に向けたさらなる取組
- ・キャリアステージに応じた効果的な研修等の充実
- ・休日の中学校部活動の地域展開の着実な実施
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進
- ・計画的な改修による、学習環境向上と老朽化対策の一体的な整備

【生涯学習】

- ・情報が届きにくい方にも広くアプローチする周知方法の確立
- ・生涯を通じた読書活動の重要性の啓発や図書館来館を促す取組
- ・デジタルとリアルの双方を活用した、多様な学習ニーズへの対応
- ・子育て家庭を社会全体でサポートする体制の整備
- ・深刻化する地域活動の創り手不足への対応
- ・家庭・地域等と連携した情報モラルの育成
- ・地域の生涯学習拠点施設の役割や機能の充実

III 金沢市教育振興基本計画の基本的な考え方

1 基本理念

『自学・共創の学びを通して 心豊かな未来を創る 金沢の教育』

心豊かな未来を創るためにには、市民一人一人が、健康で生きがいをもち、豊かな人生を切り拓く力と、ふるさとを愛し、人を思いやる豊かな心を育むことが必要である。

また、生涯にわたり主体的に学びの場に参加し、自身の成長や自己実現をめざして学び続ける意欲と、社会的変化を乗り越えるべく、多様な人々と協働しながら共通の課題を解決しようとする姿勢を培うことも大切である。

本市では、自ら学び考える・他者と共に創り上げる学びを通して、心豊かな未来を創る金沢の教育をめざす。

2 基本方針

【基本方針1】未来を創る子供の育成

子供たちが変化の激しい社会をたくましくしなやかに生き抜くことができるよう、教育活動全体を通じて、豊かな人間性を育むとともに、確かな学力の向上と健やかな体の育成を推進するほか、情報化社会における学習の基盤となる情報活用能力を育成し、郷土に誇りと愛着を持った未来を創る子供を育てる。

【基本方針2】多様な教育的ニーズへの支援

いじめや不登校への対応、特別な配慮や支援を必要とする子供の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援するため、一人一人の教育的ニーズを把握し適切な指導を行う多様なきめ細やかな教育の充実に取り組むほか、専門的な相談や一貫した支援体制の整備とともに、学校に通えなくても適切な教育を受けられる機会の整備や外国人児童生徒等の教育の充実など、多様な学びの場や学習機会の確保を支える。

【基本方針3】家庭・地域・学校が一体となった教育力の向上

地域社会が一体となって未来を担う子供の育成を推進するため、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を自覚しながら連携・協力するとともに、社会全体での子供の健やかな成長を見守る環境づくりや、地域コミュニティの基盤を生かした取組を通じて、家庭及び地域の教育力を高める。

【基本方針4】生涯にわたる学びの推進

市民一人一人が、生涯にわたって自らの興味や関心に基づき、様々な学習活動に取り組み、生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、市民の誰もが主体的に学べる機会や、他者との協働による学びの機会を提供し、多様なニーズに対応した生涯にわたる学びの環境整備を進める。

【基本方針5】教育・学習環境の整備

子供たちの安全・安心で快適な学習環境の確保や学校施設の整備を進めるとともに、子供たちの確かな学力の向上や健全な心身の発達、時代に対応できる人材の育成に向けて、教職員の資質向上や働き方の見直しを図り、これまで以上に子供たちと向き合える体制を整えるほか、市民が生涯にわたって多様な学習活動を主体的に行うことができるよう、誰もが学びやすい学習環境や学習拠点を整える。

金沢市教育振興基本計画（骨子案）

IV 施策の基本的方向性と取り組むべき施策の考え方

基本方針 1 未来を創る子供の育成

＜基本的方向性 1＞

豊かな人間性の育成

- ・道徳教育（心の教育）の充実
- ・人権教育の推進
- ・学校図書館教育の推進

＜基本的方向性 2＞

確かな学力の向上

- ・学力の向上
- ・キャリア教育の推進

＜基本的方向性 3＞

情報活用能力の育成

- ・ICTを活用した教育の推進
- ・デジタル・シティズンシップ教育の推進

＜基本的方向性 4＞

健やかな体の育成

- ・健康教育の推進
- ・体力の向上
- ・安全・安心な学校給食の提供

＜基本的方向性 5＞

ふるさと教育の推進

- ・歴史や伝統・文化等に関する教育の充実
- ・国際理解教育の充実
- ・科学教育の充実

【計画の策定にあたり重視する点】

- （1）新金沢型学校教育モデルの実践
- （2）多様なニーズに対応した教育の推進
- （3）学校・家庭・地域の連携・協働の強化
- （4）誰もが学びやすい生涯学習の実現
- （5）教育・学習環境の充実

基本方針 2 多様な教育的ニーズへの支援

＜基本的方向性 1＞

いじめ・不登校等への対応

- ・いじめ・不登校・問題行動等への取組の充実
- ・不登校児童生徒の教育機会の保障

＜基本的方向性 2＞

特別支援教育等の充実

- ・特別支援教育の推進
- ・インクルーシブ教育の推進
- ・外国人児童生徒教育の充実

＜基本的方向性 3＞

教育相談・支援体制の充実

- ・相談・支援機能の充実
- ・教育支援センターにおける支援体制の充実

基本方針 3 家庭・地域・学校が一体となつた教育力の向上

＜基本的方向性 1＞

家庭・地域・学校等の連携の推進

- ・地域で子供を育てる意識向上活動への支援
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体化的推進
- ・部活動の地域展開の推進
- ・地域コミュニティを生かした防災教育の推進

＜基本的方向性 2＞

家庭・地域における青少年教育の推進

- ・主権者教育の推進
- ・人権教育など自他を思いやる心を育む学習の推進
- ・情報モラル教育の推進
- ・五感で学ぶ体験活動の充実
- ・健やかな子供を育むための家庭教育の推進
- ・子供の読書活動の推進

基本方針 4 生涯にわたる学びの推進

＜基本的方向性 1＞

主体的な学びの推進

- ・自主的な学習及び読書活動の推進
- ・様々な世代でのキャリア教育の推進
- ・リカレント教育の推進
- ・スポーツ活動・健康づくりの充実
- ・インクルーシブな生涯学習の推進

＜基本的方向性 2＞

協働による学びの推進

- ・学生と若い世代の社会参画の推進
- ・公民館等における持続可能な社会づくりに向けた学習の推進
- ・地域づくり・まちづくりに関する学習機会の提供
- ・学びの成果の活用の奨励
- ・NPO、企業や市民と行政の協力・協働関係の構築

＜基本的方向性 3＞

金沢の歴史・文化や個性を生かした学びの推進

- ・伝統文化を未来へつなげる新たな文化創造のための学習の推進
- ・美術館や博物館等を生かした学習の充実
- ・行政、民間、高等教育機関の連携による学習機会の提供

基本方針 5 教育・学習環境の整備

＜基本的方向性 1＞

教職員の資質向上と働きやすい環境の確保

- ・教職員が本務に専念するための時間の確保
- ・教職員研修の充実

＜基本的方向性 2＞

学校施設の整備

- ・安全で快適な学習環境の確保
- ・学校規模の適正化の推進

＜基本的方向性 3＞

生涯学習環境の充実

- ・生涯学習拠点施設の整備と機能充実
- ・教育・文化施設を生かした学習の充実
- ・学習情報の発信強化